

1 日 時 平成20年6月10日(火) 第5時限 6の4教室

2 単 元 源頼朝と鎌倉幕府 (本時6/8)

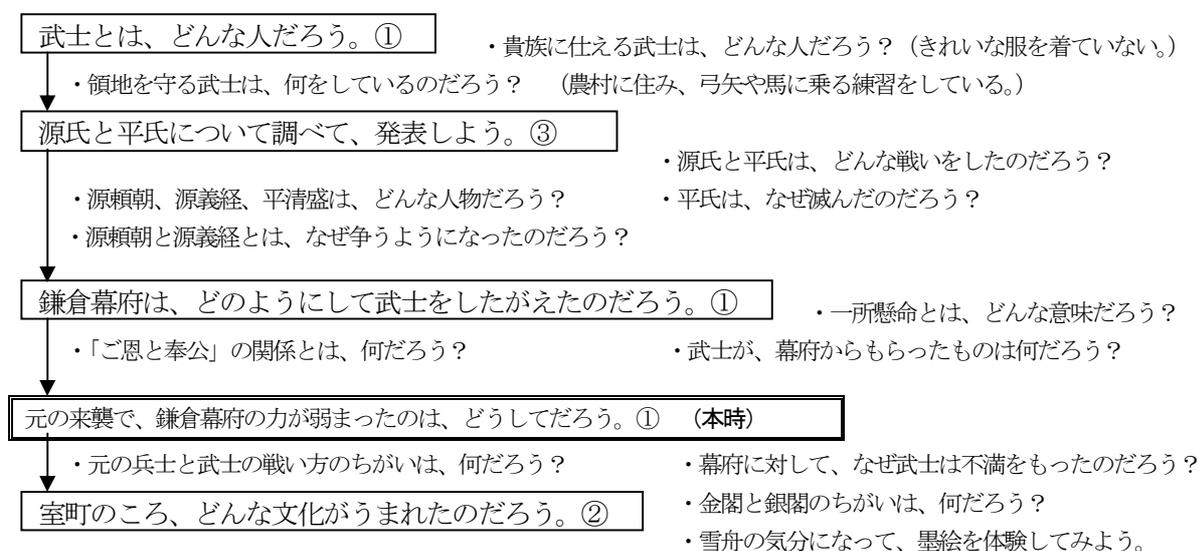
3 単元目標

- (1) 源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦い等について、関心を持ち、源頼朝が平氏打倒の兵を挙げた出来事など具体的事例について、自分なりに課題を持ち、調べようとする意欲をもつ。(関心・意欲・態度)
- (2) 源平の戦い以後、鎌倉幕府が力をつけた理由や、元との戦い以後、幕府の力が弱まっていった理由について考えることができる。(思考・判断)
- (3) 年表や歴史的な絵画、イラストなどの資料を効果的に活用し、武士の時代が始まった頃の戦いや政治、文化についてレポートにまとめ、発表することができる。(技能・表現)
- (4) 源頼朝を中心とした武士が貴族に代わって政治を始めたことや、朝廷の反乱や元との戦いとその後の様子、室町時代に民衆の動きや新しい文化が生まれたことを理解することができる。(知識・理解)

4 単元について

「歴史」学習の開始にあたって、歴史人物カルタを行い歴史学習の楽しさを教えた。歴史に親しみを感じてきた子どもたちは、昔の人々の生活や昔の出来事に興味をもって学習している。また、古くから栄えた牟呂校区の遺跡や古墳を見学したり、修学旅行で見学する奈良について調べ学習をしたりして、歴史をより身近に感じることができている。この単元では平清盛や源頼朝などの行動や考えを理解しながら、鎌倉幕府の仕組みについて考え、政治の実権を握った武士や少しずつ成長してきた民衆との間に新しい文化が生まれ、それは現在の生活にもつながっていることに気づかせたい。また、絵図や写真の資料を見て気づいたことを発表し合うことで、歴史的事実を読み取る力を育て、自分の考えを進んで発表したり、話し合ったりすることで一人一人の歴史認識の向上を図りたい。本学級では、発言力のある S.O 男や M.K 男が、積極的に発言することができる。他の子どもたちも自信をもって発言させ、話し合いに意欲的に臨めるようにしていきたい。

5 単元構想(8時間完了)



6 本時の指導

(1) 目 標

- ・ 元寇によって「ご恩と奉公」の関係がどのようにくずれていったのかについて、自分なりの考えをもつことができる。(思考・判断)

(2) 指導にあたって

本時では、「元との戦い」の絵から、元の兵士や日本の武士の戦いの様子について、気づいたことを発表しながら、幕府に仕える武士が、ご恩(領地)をもらうために一所懸命に奉公していることを理解させたい。また、元寇による武士の負担も大きく、奉公に報いるご恩が与えられない幕府とそれに不満をもつ武士との間で強い結びつきがくずれ、政治の実権が室町幕府の武士へと代わっていくことにも着目させたい。

(3) 準備

教師… 資料「元との戦い」 武士と鎌倉幕府(武士)顔の絵 OHC 児童… ワークシート

(4) 展 開

時間	学 習 活 動	※支援・留意点 [評価 (方法) 観点]													
<p>1 5</p> <p>2 5</p> <p>4 0</p>	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>元の来襲で、鎌倉幕府の力が弱まったのは、どうしてだろう。</p> </div> <p>2 「元との戦い」の絵図を見て、元の兵士と日本の武士の戦う様子について気づいたことを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>元の兵士と日本の武士は、どのような戦いをしたのだろう。</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p><元の兵士></p> <ul style="list-style-type: none"> ・弓は短い 矢には毒 ・「てつほう」大きな音 ・動きやすいよろい ・集団で攻めこむ戦法 </td> <td style="width: 10%; text-align: center; padding: 5px;"> <p><武器></p> </td> <td style="width: 40%; padding: 5px;"> <p><日本の武士></p> <ul style="list-style-type: none"> ・弓は長く使いこなすには力が必要 馬に乗っている。 ・重いよろい 重さは数十kg ・名前を名乗り、一対一で戦う戦法 </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> <p><服装></p> </td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> <p><戦い方></p> </td> <td></td> </tr> </table> <p>3 戦いの結果について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>元は、日本を征服したのだろうか。</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p><武士の働き></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手柄をたてるために、激しく戦う (奉公)。 ・石るいを築く。 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p><自然の助け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・暴風雨によって元の船が沈む。(文永：新暦11月26日)(弘安：新暦8月23日) </td> </tr> </table> <p>4 元寇後の幕府と武士の関係について考えたことをワークシートに書いて発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>元との戦いの後、武士や幕府はどうなっていったのだろう。</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p><武士の考え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦ったのだから領地がほしい。 ・戦いの出費で生活も苦しい。 ・領地がもらえないなら幕府の命令を聞かないぞ。 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p><幕府の考え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・元を追い返したが、手柄をたてた武士に与える領地 (ご恩) がなくて困った。 ・幕府も困っているが、武士たちを何とか助けることはできないかな？ </td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ご恩と奉公の関係がくずれ、武士は幕府に不満をもった。</p> </div>	<p><元の兵士></p> <ul style="list-style-type: none"> ・弓は短い 矢には毒 ・「てつほう」大きな音 ・動きやすいよろい ・集団で攻めこむ戦法 	<p><武器></p>	<p><日本の武士></p> <ul style="list-style-type: none"> ・弓は長く使いこなすには力が必要 馬に乗っている。 ・重いよろい 重さは数十kg ・名前を名乗り、一対一で戦う戦法 		<p><服装></p>			<p><戦い方></p>		<p><武士の働き></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手柄をたてるために、激しく戦う (奉公)。 ・石るいを築く。 	<p><自然の助け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・暴風雨によって元の船が沈む。(文永：新暦11月26日)(弘安：新暦8月23日) 	<p><武士の考え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦ったのだから領地がほしい。 ・戦いの出費で生活も苦しい。 ・領地がもらえないなら幕府の命令を聞かないぞ。 	<p><幕府の考え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・元を追い返したが、手柄をたてた武士に与える領地 (ご恩) がなくて困った。 ・幕府も困っているが、武士たちを何とか助けることはできないかな？ 	<p>※一人の気づきを全員で確認できるように、OHCで絵図をテレビ画面に拡大する。</p> <p>※K男やT子にも声をかけ、多くの子に発表せ、学習への意欲づけを図りたい。</p> <p>※社会科資料集 P.37 「元軍のよろい」で確認させる。「てつほう」についてはどんな兵器か補足説明をする。</p> <p>※元寇はその後も計画されたが、元の国内事情や外国の抵抗などにより、2回で終わったことを説明する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>元の来襲によって、鎌倉幕府の力が弱まった理由について、自分の考えをもつことができたか。</p> <p style="text-align: right;">(発言・ワークシート)</p> <p>A: 「ご恩と奉公」の関係がくずれたからと根拠を明確につかんで、自分の考えをもつことができる。</p> <p>B: 他の児童の考えを参考にしながら、自分の考えをもつことができる。</p> </div>
	<p><元の兵士></p> <ul style="list-style-type: none"> ・弓は短い 矢には毒 ・「てつほう」大きな音 ・動きやすいよろい ・集団で攻めこむ戦法 	<p><武器></p>	<p><日本の武士></p> <ul style="list-style-type: none"> ・弓は長く使いこなすには力が必要 馬に乗っている。 ・重いよろい 重さは数十kg ・名前を名乗り、一対一で戦う戦法 												
		<p><服装></p>													
		<p><戦い方></p>													
	<p><武士の働き></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手柄をたてるために、激しく戦う (奉公)。 ・石るいを築く。 	<p><自然の助け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・暴風雨によって元の船が沈む。(文永：新暦11月26日)(弘安：新暦8月23日) 													
<p><武士の考え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦ったのだから領地がほしい。 ・戦いの出費で生活も苦しい。 ・領地がもらえないなら幕府の命令を聞かないぞ。 	<p><幕府の考え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・元を追い返したが、手柄をたてた武士に与える領地 (ご恩) がなくて困った。 ・幕府も困っているが、武士たちを何とか助けることはできないかな？ 														
<p>5 本時の感想をワークシートに書く。</p> <p>※鎌倉幕府はこの後どうなっていこうかと疑問を投げかけ、次時の学習につなげる。</p> <p>※自分の考えがもてない児童には、友達との考えの中で、どれがよいか考えさせる。</p>															